

# 一般会計など全予算を“可決”

本定例会では、第1および第2予算審査特別委員会を設置し、3月14日から17日まで各委員会を開催し、令和4年度一般会計予算ならびに特別会計4件、企業会計2件について審査を行いました。

## 空家対策

**問** 雪による家屋の倒壊防止に向け、特定空家等の調査の頻度を増やす計画はあるのか。

**答** 特定空家は、降雪前と融雪後の年2回の定期調査のほか、荒天が予想されるときには前後に確認を行うとともに、市民の皆さんから通報があった場合も随時確認を行っている。雪による損傷については、公道に落雪する可能性が高いと思われる空家を中心に巡回を行っており、今後はその際に特定空家の確認も行っていきたい。

## スマート水田実証プロジェクト

**問** スマート水田実証プロジェクトの昨年までの進捗度合いと、本年度の予定について伺う。

**答** このプロジェクトは、令和3年度と4年度の2か年で実証実験を行うものであるが、令和3年度は圃場水管理システムの導入が遅れたため、効果の実証は限られたものであった。本年度は、圃場水管理システムの導入効果を通年で検証し、北空知土地改良区の揚水機場の制御試験、滝川工業高校との防護施設等の機械開発に取り組む予定である。

## 東地区学童クラブについて

**問** 東地区学童クラブの定員超えが続いているが、何らかの対策を考えているのか。

**答** 現在、東地区学童クラブの施設の拡大や、代替施設の確保については難しい状況である。今後の児童数の推移を見て検討していく。



## NAKASORAにこよう推進協議会

**問** NAKASORAにこよう推進協議会とはどのようなものか。

**答** 地元企業の人手不足の改善を目指した、滝川市、赤平市、芦別市、上砂川町で構成される協議会で、令和3年度には学生を対象にVR技術を活用した企業見学会の実施や、企業を対象にしたオンラインセミナーを開催した。令和4年度についても、企業見学や仕事体験事業、企業向けセミナー等の開催を検討している。



## 合同墓埋葬立会委託業務

**問** 合同墓埋葬立会委託業務では、業者はどのような役割をするのか。

**答** 業者は、当日の受付から実際に埋葬するまでのサポート等のほか、周辺環境の清掃なども行う。

## コミュニティスクールの活動

**問** コロナ禍によりコミュニティスクールの活動ができなかったと思うが、令和4年度はどのような活動を考えているのか。

**答** 学校から要望があった長期休暇中の学習支援や課外学習支援にボランティアとして対応するとともに、市内各中学校区の学校運営協議会で地域連動の事業を展開していきたいと考えている。

## 空知管内公共ホール等使用料補助金

**問** 空知管内公共ホール等使用料補助金を申請するにはどのような要件があるのか。

**答** 申請対象者は、本来文化センターの大ホールを使用することが予定されていた市内団体等で、滝川市民交流プラザのメインホールの収容人数を超えるものや、吹奏楽器による音楽活動を行うものが、指定された空知管内の公共ホールを使用する場合に、会場使用料の2分の1（上限額15万円）を補助する。なお、吹奏楽器による音楽活動を行う市内学校の部活動については、移動等にかかる経費を別途補助する。

## 下水道管の老朽化対策

**問** 全国的に下水道管の老朽化による道路の陥没が話題になっているが、当市における調査や防止への取り組みはどのように行っているのかを伺う。

**答** 平成24年度から継続的に老朽管の調査を実施しており、現在は主要な管渠きよが埋設されている幹線など約50kmについて目視やテレビカメラでの調査を計画的に実施している。

**問** 下水道管の上に設置されているマンホール部分が盛り上がってくるという現象が市内でも散見されているが、改良方法をどのように考えているのか。

**答** 冬期間の道路の凍上現象や劣化に伴い、マンホールの周囲が部分的に下がっていく傾向にある。全てを解消するのは難しい状況だが、凹凸が激しい箇所はマンホールを下げよう対応をしていきたいと考えている。

## 市民の健康増進

**問** 特定健診の受診率向上対策として何かあればお伺いしたい。

**答** これまでも、はがきや電話による勧奨や脳ドックによる検診事業の拡大、特定健診と無料がん検診をセットにしたキャンペーンを実施してきた。

今後は、20～30歳代を対象に勧奨チラシを送付するほか、41歳になる方へは特定健診を受診することで男性には胃、肺、大腸がん検診を、これに加えて女性には子宮がん、乳がん検診を無料で受診できるキャンペーンなどを行う。

**問** 脳ドックの受診者の定員を増員する計画がなされているが、ほかに特定健診の対象科目を少しでも増やすなど市民の健康増進を図る方策について伺う。

**答** 今後の検査項目の拡大については、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの発見につながる検査項目や人間ドックといったものが考えられるが、助成費用については市の単独費用となるため、まずは脳ドック費用助成事業の効果検証を行いながら、そのほかの効果的な検査等についても実施の可能性を含めて検討する。